

026

軽くて便利な土を使わない土のう

取組主体

株式会社昭電

従業員数

350人

想定災害

水害

実施地域

東京都

- 近年の水害の多発を受けた土を使わず軽くて丈夫な扱いやすい土のうの販売。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

頻発する水害を受け、持ち運びやすい吸水性土のうの販売

- 電気機器メーカーである株式会社昭電は、設備の保守も事業の対象としており、これまで雷対策や地震対策のための製品を開発・販売してきた。
- 昨今、台風や豪雨による被害が日本各地で発生し、その頻度や規模が拡大傾向にあることを憂慮した同社は、平成31年より水害対策製品の充実を図り始めた。同社は、水害対策には欠かせない土のうに着目し、日水化学工業株式会社が製造する吸水性土のう「AQUABLOCK（アクアブロック）」の販売を開始した。従来の土のうは、重い、再利用ができないという欠点があったが、同製品は高吸水性ポリマーを活用することでこれを克服。この素材は、自重の1,000倍もの水を吸収して膨らむという性質を有している。
- 同製品は、乾燥状態で400gと軽く、水につけると3分ほどで20kgになる。利用後は陰干しすることで2kg程度まで戻り、再利用することが可能な商品もある。また、従来の高吸水性ポリマーは海水の吸収には不向きであったが、海水にも対応できる商品も用意されている。
- 水を吸ったポリマーはジェル状となるため、麻袋の目を通り抜けることはない。また、この麻袋には強固な天然麻が使用されており、踏みつけられても破水することはなく、杭を打っても中身が漏れないようになっている。
- 同製品は、令和元年10月の販売開始から令和2年1月までに1,000枚超を売り上げており、同社は、令和2年の夏に向け大幅な需要の増加を見込んでいる。



使用前は子どもでも運べる重さ



水に浸けることですぐに膨らむ

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- 同製品の薄型・軽量という特徴は、場所を取らずに備蓄することにも活かせる。

3 現状の課題・今後の展開等

- 同製品は、正しく使用しなければ機能を最大限発揮することができないため、同社は、効果的な使用方法の周知活動を強化していく方針である。

担当者の声

- 弊社は創業以来55年間、自然災害や犯罪・トラブルから人命や社会インフラを護る総合安全企業として事業を行ってきました。新たに水害対策事業をラインナップすることで、お客様や社会の安全・安心を支えていきたいと思っております。

問合せ先

株式会社昭電 法人番号：2010601008174
TEL：03-5819-8373 FAX：03-5819-8379 E-Mail：f@sdn.co.jp

動画

